

特定非営利活動法人 藍住町手をつなぐ育成会
児童発達支援評価票（令和4年度）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	2		・活動スペースが広がったこともあり、密になることはなく、一定のスペースを空けて活動することができている。
	②	職員の配置数は適切であるか	9	1		・非常勤職員や学生アルバイトなどで、利用人数が多い行事など対応している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	6		・男女兼用のトイレであるため、分けることが難しく、配慮していく必要がある。
業務 改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	2		
	⑤	家族等向け評価表により、家族等に対して事業所の評価を実施するとともに、家族等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	2		・アンケート調査を行い、家族の意向を把握し改善に努めている。
	⑥	事業所向け自己評価表及び家族向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	4		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4	2	・現在、外部評価を行ったことがない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	1		・積極的にウェブ研修などに参加をして、知識や理解を深めている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	2		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	4		
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	5		
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	1		
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	4		・会議にて活動内容など立案、検討をしている。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	5		・より一層、様々な活動プログラムを取り入れるなどの工夫が必要である。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7	3		・子どもの状況に応じて、作成をしている。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	2		・打ち合わせ等を行い、その日の支援の内容などの確認を行っている。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	4		・支援後に打ち合わせ等を行っていないが、職員間で情報共有等を行い対応をしている。 ・何か変わったことについては共有している。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	1		・毎日、会議を開催して情報共有し、改善につなげている。
連携	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10			・半月に1度モニタリングを行っている。
	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	5	1	・新型コロナウイルスの影響で参加する機会があまりなかった。 ・会議がおこなわれていない。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	7		・児童相談所、行政等と連携を図り支援を行っている。 ・特別な機会は設けていないが、送迎の際などに幼稚園と情報共有を図っている。

関係機関や家族等との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の在宅支援のため、地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	7	1	・該当児童がいない。
	②③	医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	6	2	・該当児童がいない。
	②④	移行支援として、保育所や幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	5		・新型コロナウイルスの影響もあり、訪問することが難しいこともあったが、電話連絡などで情報共有を行った。
	②⑤	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	4	1	・相談支援専門員等と情報共有することはあるが、学校との連携についてはまだ不十分である。
	②⑥	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	5	1	・研修等については定期的に受講をしているが、ほかの機関との連携についてはまだ不十分である。
	②⑦	保育所や、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	4	3	・新型コロナウイルスの影響もあり、現在は交流の機会がないので交流を深めていく必要がある。
	②⑧	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	3	3	
	②⑨	日頃から子どもの状況を家族と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	10			・連絡帳などを活用して、共通理解を図っている。
	③⑩	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4	4	2	・家族からの要望もあり、少人数で情報交換を行うなどの機会を設けている。
	家族等への説明責任等	③①	運営規程、利用者負担等についていねいな説明を行っているか	7	3	
③②		児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示して支援内容の説明を行い、家族から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	2		
③③		定期的に、家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			・家族からの要望もあり、少人数で情報交換を行うなどの機会を設けている。
③④		父母の会の活動を支援したり、家族会等を開催する等により、家族同士の連携を支援しているか	4	5	1	・新型コロナウイルスの影響で開催することができなかったが、来年度は感染予防対策を行いながら行う。
③⑤		子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに子どもや家族に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	3		・苦情内容を会議で検討し、迅速に対応することができるようにしている。
③⑥		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや家族に対して発信しているか	10			・ブログやオレンジノートなどを活用して情報を発信している。
③⑦		個人情報の取り扱いに十分注意しているか	8	2		
③⑧		障がいのある子どもや家族との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	4		・新型コロナウイルスで中止となっていたが、来年度は感染予防対策をしながら行う予定である。
③⑨		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	5	3	・以前はお祭りやお餅つきなどに招待をしていたが、地域住民を招待することができなかった。
家族等への説明責任等		④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	3	
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1		・自主防災訓練行っており、避難経路の確認なども定期的に行っている。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	7	3		
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	4		・アセスメントの際に家族から情報をもらうなど、職員間で情報共有を行っている。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10			・ヒヤリハット報告書等で情報共有、改善に取り組んでいる。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1		・非常勤職員などすべての職員が研修に参加することができていなかったため、以後はすべての職員に研修を受けてもらうようにしている。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や家族に事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか	6	3	1	